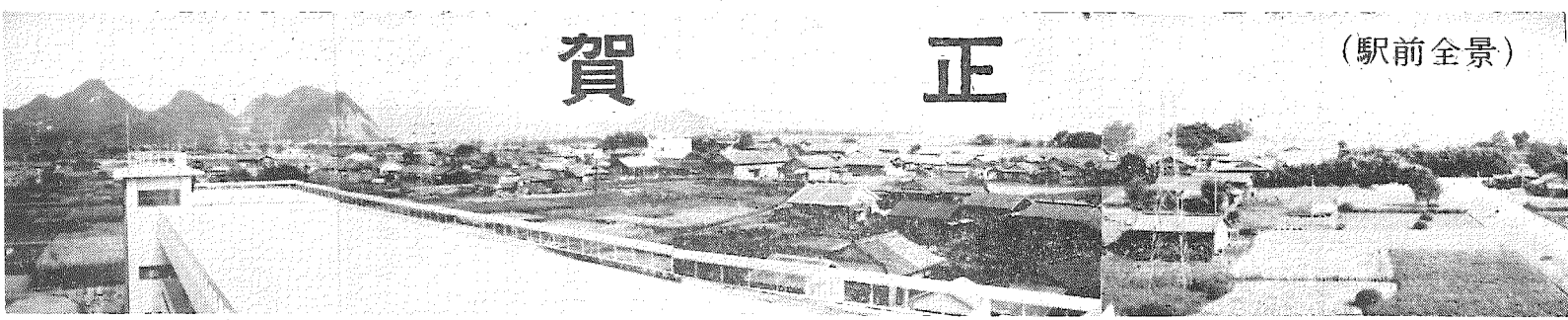


賀 正

(駅前全景)



発行所 始良町役場
編集人 企画課
キング堂印刷所

人口のうごき	
12月1日現在	
戸数	5,995戸
男	11,008人
女	12,435人
計	23,443人
出生	14
死亡	1
転出	134
転入	111

新年のごあいさつ

新年おめでとうございませう。年明けましておめでとうございませう。昨年は役場新庁舎の建設落成をはじめ、二十万羽集団養鶏計画の発足など町の行政経済は多事多事ございましたが、幸いに町民の皆さんの理解あるご協力をいただきました。町政全般に順調な歩みをする事ができたことを感謝いたします。

日本経済の成長発展に伴って農家所得と非農家所得の格差はますます拡大しつつあるうちに、世界的な貿易自由化によ



議長 久保 忠 義

このあいだ大きな天災にもあわず、町勢は頭初の建設計画以上に順調に発展して、昨年は待望の大始良町新庁舎がますます発展する大始良町の行政のセンターにふさわしくついに落成いたしました。これひとえに町民の皆様のご協力のたまものでありまして、ご同慶にたえません。

しかし、町の前途はなおより遠くあり、地域産業経済の振興、文教厚生施設の拡充、公共施設の整備など、国県の施策にも対応して推進しなければならぬことがたくさんあります。

地域格差の解消、所得の倍増、ことに農業近代化を促進することとが今日の急務であります。本町におきましては、その骨幹として二〇万羽集団養鶏を企画し、国の鶏卵主産地域の指定をうけ関連諸施設の整備充実を進めているのでありますが、幸い飼育者の努力と優秀な技術陣の活躍によりまして、すでに計画初年度の目標に達する好成績をおさめつつあります。

さらに養鶏部門だけでなく、全農業部面を近代化し地域産業の振興をはかるためには関係機関を整備強化し、その体質を改善することと町民総意による振興意欲の昂揚が基礎であると確信します。

本年は寅(とら)年であり、あつちの虎のようにたくましく周到な計画のもとに、大始良町建設のために総力をあげてまい進し、最良の年でありませうと祈念しまして年頭のごあいさつといたします。



町長 水 流 清 高

町民の皆さんのために昭和三十一年が最良の年でありませうと皆さんのご健康とご多幸を祈ります。なお、昨年は皆さんの励ましのもとに二月余にわたってのアメリカ農村視察をして、良い勉強をさせていただいたことをお礼申し上げます。

前日まで気づかされた、北風寒い天気も、この日は晴れ、うつつかわった、日本晴の暖かい天気で、祝賀会を盛んにし、町の発展を祝福する日よりでした。早朝から、庁舎内はお祝いの町民で、いっぱい、案内する係員の声も、はずんでいました。見学者の方も、「りっぱな建物が見えた、よかった」と目をみはって、よろこんでおられました。



(ぎっしりつまった会場)

会場は来賓、町民の方で、にぎやかにはじめられ、帰国して二日目でありますが、元気の町民の声は、はずんだあいさつでした。ついで、各功労者、備品納入者への表彰があつて、早知事代理をはじめ、来賓のお祝いのことは、さらに式を盛りあげました。

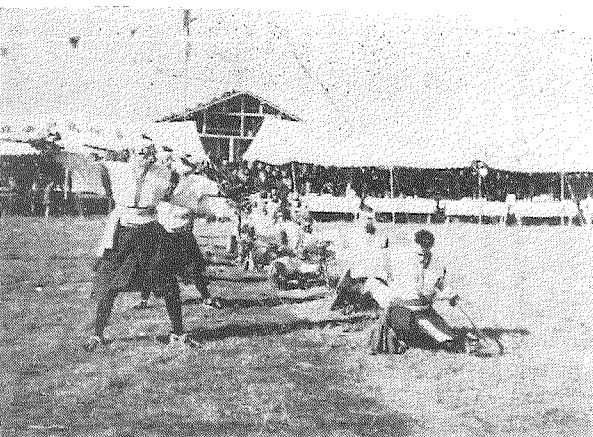
三番機はちよつと遅れて頭上を飛べ、消しようにも、そばに寄りついで、手つけようもない有様、かどうか、話し合いました。だれも同じ気持ちで、余興にうつる気分が、かなしい惨事はあつたものの、ふたりの雲はながく始良町発展のいしづえとなつているのであります。

参加四千余人の祝賀

かげに海上自衛隊員の殉職

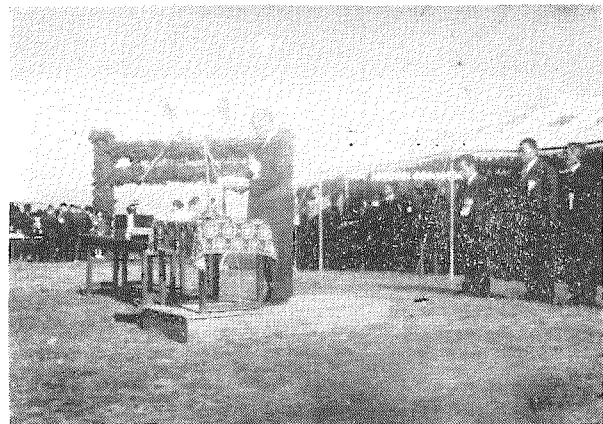


(三叉校区 金山踊)

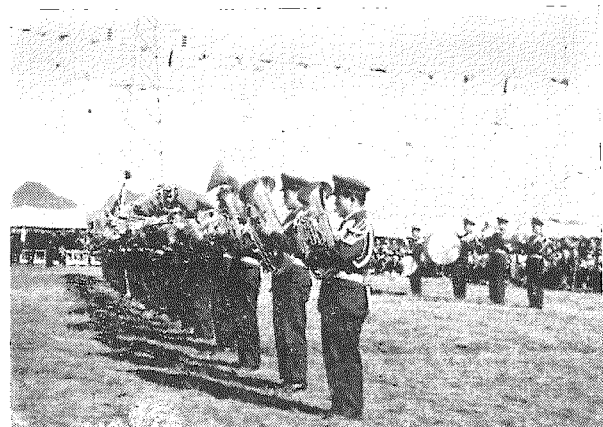


(三叉校区 金山踊)

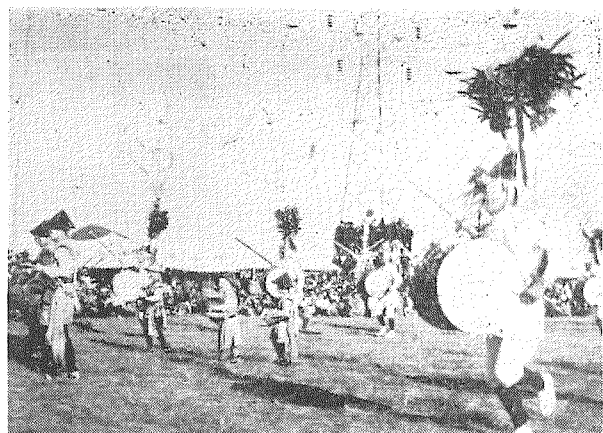
ただちに議会全員協議会を開き、今後の処置、後の余興を執行するかどうか、話し合いました。だれも同じ気持ちで、余興にうつる気分が、かなしい惨事はあつたものの、ふたりの雲はながく始良町発展のいしづえとなつているのであります。



(町長 あいさつ)



(西部方面音楽隊のパレード)



(船津校区のたいこ踊)

「という声もあるが、重油のことどうすることもできない状況でありました。町の発展を祝福する日よりでした。早朝から、庁舎内はお祝いの町民で、いっぱい、案内する係員の声も、はずんでいました。見学者の方も、「りっぱな建物が見えた、よかった」と目をみはって、よろこんでおられました。

いよいよ余興に、はいろうとすななな、せつかくお祝いにきてくれたのに、かわいそうなことを祝賀パレードについで背面飛行した」と口々に、会場は混雑しまりました。

ほかの一機は、鹿屋に連絡のため急行、後の一機は、上空を回りながら見守っていました。

祝賀にきていた、西部方面音楽隊は、われわれの同様の雲よ、安かれと、ふたりの追悼演奏を現地で演じ、観衆はその間、もくもくときき、めい福を祈りました。

たいこ踊りや、三叉校区の金山踊りは、おすれがたいものがあつて、こうして一日目をおわりました。かなしい惨事はあつたものの、ふたりの雲はながく始良町発展のいしづえとなつているのであります。

町10大ニュース

- 1、新庁舎落成
二千八百余万円で大和建設請負九月三〇日落成、十二月九、一〇日祝賀会
- 2、海上自衛隊機墜落
庁舎祝賀飛行のさい、エンジンの故障によって二名殉職
- 3、二〇万羽養鶏推進
所得倍増をめざし二〇万羽養鶏を推進、養鶏農協連合会設置
- 4、農業機械化センター建設
農業を近代化するため、ブルドーザー、耕耘機などを購入農業機械利用組合の設置
- 5、農協合併推進協議会設置
農業近代化にともなう、五農協を合併しようとする会
- 6、山田中学校講堂兼体育館新設
約百四〇坪、五百七十五万円で建設、五月二日祝賀式
- 7、新開橋、橋元橋落成
いづれも鉄筋コンクリートの永久橋
- 8、町長アメリカ視察
米国際協力局の招待で、約七〇日間各地を視察、十二月六日帰鹿
- 9、農業委員選挙
いままでも無投票当選であったが二月九日の選挙は投票率七〇パーセントで十五名当選しました
- 10、電燈施設

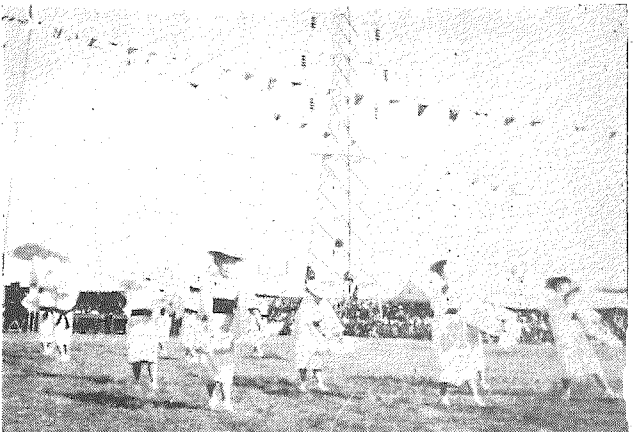
出初式 一月十日午前十時

火の用心

場所 山田中学校



(成美校区の棒踊)



(重富校区の岩手お尚さん)



(役場職員のあけぼの音頭 木曾節)

庁舎落成労者に感謝状

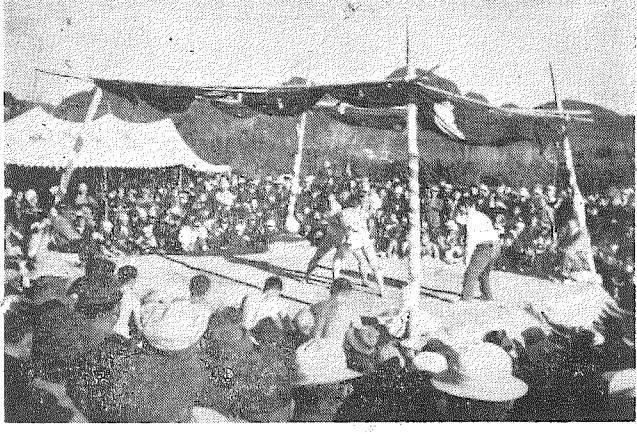
- 敷地あつせん
村田吉熊氏 新 静麿氏
敷地分譲者
村田貞治氏 湯浅 好枝氏
安田俊江氏 松下 正清氏
清松留吉氏 堀之内ミヤ氏
平瀬敏次氏 松岡吉太郎氏
野村政文氏 松岡吉太郎氏
庁舎設計監督 衛藤建築設計事務所
衛藤右三郎氏
- 構造計算設計監督
上別府建築事務所
上別府武雄氏
- 施工者
大和建設株式会社
久保 忠義氏
- 調度備品事務器
堀之内木工 井上家具店
九木工 山下事務器
淵上紙店 しんぶく文具
神綱レンジャー会社



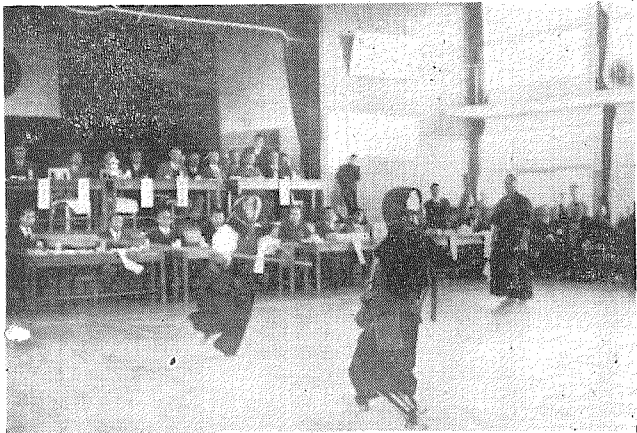
上 (山田校区の種子島踊)



中 (熱戦の角力大会)



(堂山校区の大津絵節)



下 (なぎなた対剣道)

祝賀剣道角力大会

二日目の祝賀行事の剣道大会は県下高段者ぞろいで盛況でした。
地元東軍は二四対一二、二四引き分けて大敗しました。角力大会は、この日もたい

- ### 殉職された自衛隊員
- 故 藤崎 哲也 一等海曹 二九才 下関市出身
故 中原 賢三 二等海曹 二三才 長崎県出身
おふたりのめい福をお祈りします。

ありがとうございます

お祝いおよび記念品寄贈者

- 新庁舎落成祝いに、多額の金額と記念品をいただきました。また町長アメリカ滞在中、お世話になった、ロスマンゼルス、羽島静哉氏(宇都出身)から一万円、同じく、ロスマンゼルス、宮原礼子さん(松原出身)から三千六百円のお祝いをいただきました。
- 西始良信用組合 掛時計一
始良町キング印刷所
井上家具店
- 鹿児島市山下事務器店 掛時計一
新福文具店
鹿児島銀行
ダイハツ自動車K
鹿児島市洲上文具店
白金酒造株式会社
岩崎産業KK重富工場
三光自動車株式会社
林田産業KK林田熊一様
県経済協同組合中央会
信用農業協同組合中央会
農業共済組合連合会
鹿児島市久永度量衡
鹿児島市安田呉服店 カベ鏡四枚
始良町新光タイヤ店 酒二本
三角商店 焼酎二本
風流軒食堂 金二千円
福山町長豊平金二様 金一千円
国立加治木療養所 金一千円
始良町丸丸丸丸丸 金二千円
黒岩商店 花束一個
寿フン店 一個
瑞穂産業株式会社 一個
鹿児島市堀ノ内木工店 ツイタテ二個

香奠返し

- 町社会福祉協議会へ
- 一金貳千円也 故 福屋新太郎様
故 山元仁次郎様 福崎年己殿
一金壹千円也 故 岩切三夫様 口山花 岩切 輝殿
故 森 貞義様 星ヶ山 森ハナエ殿
一金壹千円也 故 野村信子様 森 野村公男殿
故 小川 涉様 小川フクエ殿
故 別府ムメ様 口山花 別府道治殿